

2021年度

社会福祉法人緑友会 事業報告

- I 法人本部
- II みどり園 [指定障害者支援施設・短期入所事業・地域生活支援事業]
- III 清川ホーム [指定障害者支援施設・短期入所事業・地域生活支援事業]
- IV 伊勢原ふたば保育園 [認可保育所・地域育児センター事業]
- V 本厚木ふたば保育園 [認可保育所]
- VI げんき家 [共同生活援助事業]
- VII つくし [就労継続支援B型事業]
- VIII アトリエ ヴェルデ [就労継続支援B型事業]
- IX つくし相談室 [相談支援事業]
- X 施設間連携室

自 2021年 4月 1日

至 2022年 3月 31日

# I 法人本部

## 【総括】

2021年は2020年と同様に徹底した新型コロナウイルス感染防止対策に1年間途切れることなく追われた1年でした。

各施設では感染予防を徹底し、事業活動の内容の見直しをしたり、事業の執行方法を工夫したりしながら、また、コロナ禍における支援体制の確保に努め、利用者や園児等に安心安全な支援、保育サービスを提供することができました。

財政面では、新型コロナウイルスの感染による短期入所や通所者の利用制限など事業活動収入の減、認定こども園や小規模保育施設の増加等による保育需要の減少による保育事業収入の減など、決算額が予算額を下回る結果となり、2021年度の単年度収支は若干の赤字となりましたが、本部と各施設長で収入確保や支出の適正化を確認することにより、財務規律への意識向上を図ることができ、法人運営の改善に取り組むことができました。

新型コロナウイルスは、第6波収束後も新たな変異株へと、今後もなお変異を続けていると思われることから、引き続き感染防止対策、危機管理対策を徹底し、安心安全なサービスの提供に努めていきます。

## 1 評議員会

令和3年 6月29日

### 【議案】

- ・2020年度事業報告及び収入支出決算について
- ・定款の一部改正について
- ・理事の選任について
- ・監事の選任について

令和4年 3月30日

### 【議案】

(決議の省略)

- ・2022年度事業計画及び予算について

## 2 理事会

令和3年 4月28日

(書面開催)

### 【報告事項】

- ・4月1日時点での入所者・園児等の状況について
- ・2020年度第2回評議員会について

令和3年 5月27日

(決議の省略)

### 【議案】

- ・金融機関からの借入(6月賞与支給等に係る一時借入金)について

### 【報告事項】

- ・本厚木ふたば保育園の現状と今後の見通しについて
- ・お祓いについて
- ・裁判終了後の保育士の復帰について

令和3年 6月14日

### 【議案】

- ・2020年度事業報告及び収入支出決算について
- ・定款の一部改正について
- ・理事の選任について
- ・監事の選任について
- ・2021年度第1回評議員会(定時評議員会)の招集について
- ・評議員の推薦について
- ・評議員選任・解任委員会の招集について

令和3年 6月29日

### 【議案】

- ・理事長の選定について
- ・評議員選任・解任委員会委員の選任について

- 令和3年 7月21日  
(決議の省略)
- 【議案】**
- ・評議員の推薦について
  - ・評議員選任・解任委員会の招集について
- 【報告事項】**
- ・7月1日時点での入所者・園児等の状況について
  - ・評議員選任・解任委員会について
  - ・2021年度第1回評議員会（定時評議員会）について
- 令和3年 8月25日  
(書面開催)
- 【報告事項】**
- ・評議員選任・解任委員会について
  - ・新型コロナウイルスについて
- 令和3年 9月29日
- 【報告事項】**
- ・新型コロナウイルスについて
  - ・裁判終了後の保育士について
  - ・理事長専決事項の執行状況について
- 令和3年10月27日  
(書面開催)
- 【報告事項】**
- ・10月1日時点での入所者・園児等の状況について
  - ・2021年度第2回評議員会について
  - ・法人設立40周年記念誌の発行について
- 令和3年11月24日
- 【議案】**
- ・金融機関からの借入（12月賞与支給等に係る一時借入金）について
- 【報告事項】**
- ・基幹相談支援センターについて
  - ・40周年記念誌について
- 令和3年12月22日  
(書面開催)
- 【報告事項】**
- ・ウイルス性胃腸炎の感染について
  - ・大阪での放火事件について
  - ・防災面の強化について
  - ・新型コロナウイルスについて
- 令和4年 1月26日  
(書面開催)
- 【報告事項】**
- ・1月1日時点での入所者・園児等の状況について
  - ・新型コロナウイルスの2021年の感染発生施設について
- 令和4年 2月24日  
(決議の省略)
- 【議案】**
- ・伊勢原ふたば保育園施設長の選任について
  - ・つくし相談室管理者の選任について
  - ・アトリエヴェルデ運営規程の一部改正について
- 【報告事項】**
- ・新型コロナウイルス第6波について
  - ・事業計画や予算、処遇改善について
  - ・2022年度の理事会・評議員会開催日程案について
- 令和4年 3月22日  
(決議の省略)
- 【議案】**
- ・2022年度事業計画及び予算について
  - ・顧問の委嘱について
  - ・2021年度第2回評議員会について
- 【報告事項】**
- ・理事長専決事項の執行状況について
  - ・2022年度理事会・評議員会開催日程について

### 3 代表者会議

理事長、支援部門総括責任者、長塚顧問、総務局長、総務部長、各施設長、医療担当者代表、調理栄養担当者代表を構成員として、毎月（年12回）開催を基本としているが、新型コロナウイルス第6波の感染防止対策で7月以降6回は書面報告とした。

法人全体に係わる問題・課題等についての協議のほか、各施設の主な事業の報告、書面による確認により、法人全体で共通認識、意思統一を図った。

### 4 広報戦略会議

理事長、支援部門総括責任者、総務部担当職員2名を構成員とし、年10回開催し、2回は書面開催とした。広報誌、基本資料（パンフレット）・記念誌（40周年）・事業報告の作成、ホームページの見直し及び職員の採用対策などに関して協議を行った。

なお、2021年度は、「福祉の輪 広げたい」を年1回発行し、「ゆう」の発行を見送った。

- ・基本資料作成（法人本部）
- ・記念誌作成（法人40周年・みどり園40周年）
- ・ホームページのリニューアル（Instagramの導入 等）
- ・年賀状の作成
- ・求人サイト（マイナビ・インディード）の点検
- ・職員の採用活動の検討（採用活動用パンフレット・求人広告の検討 等）
- ・広報紙 「福祉の輪 広げたい」  
第35号（1月発行）：[表紙] 「松と富士山」

### 5 表彰委員会

代表者会議の構成員で年1回開催。永年勤務者の表彰について協議を行った。

- ・永年勤務者表彰
  - 30年表彰 2名
  - 20年表彰 2名
  - 10年表彰 4名
- ・表彰日 令和4年3月24日（法人設立日）

### 6 医療担当者会議

看護師3名を構成員とし、月1回開催。利用者・園児及び職員の健康管理・疾病予防対策、入所施設の高齢化対策、事故防止対策、新型コロナウイルス対策、看護師業務改善について情報共有や協議を行い、対応を図った。また、会議のみではなく、随時3名で課題共有を行い、各施設の管理職との連携を強化した。結果として、新型コロナウイルス感染症予防対策、マニュアルの修正、感染者発生時等の対応をスムーズに行うことができた。また、入所施設の利用者にあった適切な施設への移行や女性利用者の婦人科検診を実施終了とした。そして、施設内事故等のフィードバック・職員の意識強化を行い、業務改善として、清川ホームの薬剤管理を調剤薬局に業務委託できた。

検討項目

- ・各施設の入院状況、感染症罹患状況の報告、及びその対策について
- ・新型コロナウイルス感染症対策、発生時対応について
- ・事故・怪我の報告、及びその対策について
- ・事故、ヒヤリハットのフィードバック、職員の意識改革強化について
- ・高齢化等に伴う利用者の対応、施設移行について
- ・女性利用者の婦人科検診について
- ・薬剤管理を調剤薬局に委託について（清川ホーム）
- ・事業報告の作成

## 7 職員交流委員会

法人設立40周年記念事業と位置づけて実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

## 8 調理担当者会議

食事提供をしている施設の調理員5名を構成員として6回開催（うち新型コロナウイルス感染予防対策で書面開催3回、ZOOMを利用したのリモート会議2回）。職場での課題や問題点の協議や新型コロナウイルス感染防止等の意見交換を行い、より一層の安全・安心な食事提供及び衛生面に配慮した調理業務に向け改善を図った。結果として、より効果的な清掃方法の共有やメニューの拡充、新型コロナウイルス感染防止対策、災害時の対応強化をすることができた。

### 検討項目

- ・アレルギー対応食について
- ・入所施設食形態表リニューアルについて
- ・厨房、食堂の衛生管理・清掃業務について
- ・行事食について
- ・災害時の食事対応について
- ・感染症、食中毒防止について
- ・事業報告の作成
- ・新型コロナウイルス感染防止対策について

## 9 栄養士会議

栄養士3名、調理員1名を構成員とし、5回開催（うち2回は新型コロナウイルス感染予防対策で書面のみ）。職場での課題や問題点の協議や意見交換を行い、栄養管理業務の改善を図った。また、看護師と会議を行い、喫食者の健康促進に努めた。

### 検討項目

- ・アレルギー対応食や食形態低下に伴う個別対応について
- ・災害備蓄食料について
- ・栄養素の底上げ・栄養計算について
- ・栄養摂取量の改善について
- ・感染症、食中毒防止について
- ・新型コロナウイルス感染防止対策について
- ・各施設間の情報交換
- ・看護師と健康・栄養推進会議の開催

## 10 支援のあり方検討委員会

職員6名を構成員とし、8回開催。利用者様の生活を支える支援員を中心に構成する委員会であることから新型コロナウイルスの感染防止を第一に考え、状況を見ながら開催を判断した。歴史ある2つの入所施設の長所を認め合いそれぞれの事業所に持ち帰ること、施設の常識が社会の非常識になっていないか点検することに重きを置いて利用者様がより良い生活が送れるよう利用者目線を大切に話し合いを重ねた。

### 検討項目

- ・食事の時間帯における職員のエプロン着用の導入
- ・加湿機能付空気清浄機の試験導入とヒヤリング
- ・タイムアウト制度の導入を提案
- ・みどり園におけるスーパービジョン体制の活動報告と意見交換
- ・両施設の事故・ヒヤリハットの共有
- ・夜間の巡視について
- ・アフターコロナを見据えた入所施設のイベントについて意見交換

## 11 衛生管理点検

各施設長による衛生点検と主任調理師による点検を月2回実施し、結果を理事長はじめ関係者に報告するとともに、指摘事項については各職場で改善の取り組みを行った。

実施施設

- ・みどり園 ・清川ホーム ・伊勢原ふたば保育園 ・本厚木ふたば保育園
- ・つくし

## 12 施設整備等

- ・みどり園 加圧給水ポンプ交換工事
- ・みどり園 大型乾燥機入れ替え
- ・清川ホーム 車両入れ替え（ハイエース）
- ・清川ホーム スプリンクラー制御弁及び管末試験弁交換工事

### 2021年度の課題に対する自己評価

令和2年1月に日本で初めて新型コロナウイルスが確認され、それ以降の急速な感染拡大による社会・経済活動に与える影響は甚大なものになっている。2021年度も未だに収束の見通しが立たない厳しい状況が見込まれる中、新型コロナウイルスの感染防止を徹底した事業運営、安定した法人運営、安心安全な支援体制の充実、保育サービスの提供に引き続き取り組むこととする。

#### 1 安定した法人運営の維持

新型コロナウイルス感染による事業活動への影響を注視し、事業所ごとの収支バランスの確認等を徹底し安定した法人運営を目指す。

⇒ 各施設の収支状況を毎月点検する新たな取り組みにより、事業活動収入の確保や適正な支出の徹底を図ることができ、さらに各施設・事業所の執行管理意識の向上を高めることができた。

#### 2 安心安全な支援体制の充実

支援の充実、質の向上に努め、引き続きよりよい支援のあり方の検討や具現化を進めるとともに、職員の確保による支援体制の充実に努める。

⇒ 「支援のあり方検討委員会」の検討結果を中間報告としてまとめるとともに、支援を向上させるための具体的な行動について議論を深めた。また、職員確保策として、法人の情報発信を高めるためのホームページリニューアルを行ったり、求人サイトのアクセス状況の分析を行ったりするなど、様々な職員確保対策の検討を行い、職員確保に努めた。

#### 3 安心安全な保育サービスの提供

保育士の確保、離職防止対策に取り組む等、保育体制を整えるとともに保育士の質を高め、魅力ある保育の実践、安心安全な保育を提供する。

⇒ 保育士確保に苦労したが安定した保育体制を維持するとともに、新年度に向けての一定の採用を行うことができた。また、新型コロナウイルス感染予防対策の徹底や伊勢原ふたば保育園で病児保育事業（体調不良児対応型）を開始するなど、安心安全な保育の提供ができた。

## II みどり園

### 1 指定障害者支援施設 みどり園

#### (1) 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍数	67	68	67	67	67	68	69	68	68	68	67	67
入所	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
退所	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0
2年度 在籍数	65	65	65	66	66	65	66	66	66	66	66	67

#### (2) 生活介護通所者数 (入所利用者以外の通所による生活介護の利用者)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
2年度 在籍数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

#### (3) 行事

4月 1日	開園記念式
5月 25日	デザートイベント
7月 27日	七夕イベント
8月 22日	納涼イベント
9月 28日	かき氷イベント
11月 26日	ホットカフェイベント
11月 29日	バザー
12月 24日	クリスマス食事会
1月 24日	豚汁イベント
3月 4日	カップラーメンイベント

#### (4) 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
5月 26日 9:30~	避難訓練 (日中地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。
6月 26日 9:30~	避難訓練 (日中火災想定)	大型洗濯室より出火想定で訓練を行った。
8月 20日 9:30~	避難訓練 (日中地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。
3月 22日 9:30~	避難訓練 (日中地震想定)	緊急地震速報を想定して訓練を行った。
3月 24日 9:30~	避難訓練 (日中火災想定)	特別浴室より出火想定で訓練を行った。

・業者による年2回の定期防災機器点検に加え、自主点検も年2回実施した。

## (5) 広報

「園だより」を3回発行した。

- ・第178号（6月5日発行） 新年度あいさつ・オンライン面会・職員紹介・開園記念式・バレンタイン&節分イベント・カップラーメン食事会・防災・生活介護通所・支援特化班・新規入所者・異動職員
- ・第179号（11月6日発行） 施設長あいさつ・プリンイベント・くじ引きイベント・七夕イベント・フォトギャラリー・納涼イベント・ザSHODOH・給食だより・防災訓練・娯楽支援・訃報・新規利用者
- ・第180号（3月24日発行） 施設長あいさつ・かき氷イベント・カフェイベント・誕生会・バザー・クリスマス食事会・ギャラリー・職員挨拶・退職職員・訃報・インスタグラム
- ・ホームページのリニューアル

## (6) 権利擁護、本人活動支援

### ① 利用者自治会

年間3回開催。実施したいイベントについて話し合ったほか、要望や困ったことなどについて意見が出された。また、職員からの提案事項を相談させていただいた。

### ② 虐待防止委員会

虐待発見チェックリスト、事故報告書の振り返り、次年度以降の委員会の取り組み方法、事故報告、ヒヤリハットの振り返り、事故検証会議の進め方等の確認をした。

## (7) 職員研修

日 時	研修種別	研修内容
4月 26日 17:00～	SV面談について（講義） 講師：新実施設長	・スーパーバイザー向け研修 ・SV面談、目標設定について
5月 11日 19:00～	SV研修（講義・演習） 講師：杉崎主任	・スーパーバイザー向け研修 ・SV面談、目標設定について
5月 24日 17:30～	てんかん発作研修（講義） 講師：青塚看護師	・てんかん基礎知識
6月 16日 10:30～	新任研修（講義） 講師：新実施設長	・組織の職員としての心構え ・直接的技能・虐待防止
6月 28日 18:00～	防災研修（演習） 講師：小澤健支援員	・防災マニュアルの確認 ・受信機の取扱い方法
7月 26日 18:00～	GSV研修（演習） 講師：杉崎主任	・GSVの手法を活用しての個別支援計画の作成について ・相談支援プロセス実習
8月 30日 17:30～	ビジネスマナー・説明責任（講義・） 講師：安藤主査・和田支援員	・みどり園仕事のルールとマナー ・福祉における説明責任
12月 20日 9:30～	権利擁護研修会 講師：（福）常成福祉会理事 岡西博一氏	・虐待防止委員会設置義務化 ・虐待が起きる要因等
1月 24日 17:00～	感染症対策アイソレーション対応について（実技） 講師：和田支援員	・アイソレーション対応方法の確認
1月 24日 18:00～	GSV研修（演習） 講師：杉崎主任	・GSVの手法を活用しての個別支援計画の作成について ・相談支援プロセス実習



## 2 その他の事業

### (1) 短期入所事業

年間 延べ利用者数 428人 (令和2年度 433人)

### (2) 地域生活支援事業

(日中一時支援事業)

年間 延べ利用者数 763人 (令和2年度 687人)

### 2021年度の課題に対する自己評価

#### 1 職場研修の仕組みを確立し、スーパービジョン体制を整える。

⇒ 年間の研修計画を立て、緊急時以外は計画的に研修（OJT・OFF-JT）を実施した。スーパービジョン体制については、体制表を作成し、個別スーパービジョン、グループスーパービジョンを中心に行ない、スーパーバイザーに寄り添うことができた。引き続きスーパービジョンを職員全員が理解を深めて、職場研修の仕組みを確立し、スーパービジョン体制を構築していく。

#### 2 新型コロナウイルス感染症を含め、あらゆる感染症の対策を徹底するとともに、新しい生活様式を整えられるよう工夫する。（行事外出等の工夫、ご家族との面会方法等）

⇒ 感染症対策の徹底を図ったが、昨年度の流行性角結膜炎（はやり目）に続き、職員や利用者の新型コロナウイルスやウイルス性胃腸炎の感染等に苦闘した1年だった。しかし、そのような中でも感染症対策を徹底して、緊急時以外は工夫をしながら園内イベントを実施することができた。家族とのオンライン面会も予約制として多くのご利用をいただいた。引き続き新しい生活様式を整えられるように工夫努力を継続する。

### 2021年度の新型コロナウイルス感染予防対策

#### 【感染予防対策】

- ・施設内の消毒の徹底（朝夕2回）
- ・利用者、職員の体温チェックの徹底。発熱、体調不良者はアイルーシオン対応とした。
- ・マスク、防護服、キャップ、シューズ、ゴーグル等、クラスター対応の物品の整備。
- ・職員の行動記録票、通所利用者の健康観察記録の作成。
- ・食事の時間を変える等、職員と利用者と一緒に食事を摂らないように配慮。
- ・新型コロナウイルスの感染症について・アイルーシオンについての職員研修の実施。
- ・加湿空気清浄機の設置。
- ・外部業者による館内立入の制限。

#### 【中止・変更した事業等】

- ・緊急事態宣言期間中の短期入所、日中一時支援事業を中止。
- ・緊急事態宣言中の訪問歯科診療、美容理容を中止。
- ・納涼祭、一泊旅行、バザー等を毎月のミニイベントに代替し、縮小して実施。
- ・外出、施設外イベントの参加等の中止。
- ・令和3年2月からオンライン面会を継続。

### Ⅲ 清川ホーム

#### 1 指定障害者支援施設 清川ホーム

##### (1) 利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍数	52	52	52	52	52	52	51	51	51	51	51	51
入所	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
2020年度 在籍数	51	51	51	51	51	51	51	51	51	52	52	52

##### (2) 行事

5月	ふれあいフェスティバル（中止）
7月 17日	夏のお楽しみ会（サマーフェスティバルが中止となり代替え行事）
12月 21日	クリスマス会
1月 18日	どんど焼き
1月 25日	敬老の祝い（還暦2名、喜寿1名、傘寿1名）
月例行事	みんなの会

##### グループレクリエーション

\*新型コロナウイルスの感染症対策の為、例年行っている日帰りレクリエーションを中止し、地域の店舗等からお弁当を購入し、食事会を実施。

日 時	食事会
5月18日	A・Bグループが担当し、お弁当を購入
6月15日	C・Dグループが担当し、ほっともつとよりお弁当を購入

##### (3) 防災 業者による年2回の定期防災機器点検、自主点検も2回実施。

日 時	訓練種別	訓練状況
4月 13日 13:30～	避難訓練・浄水訓練 (地震:日中想定)	安全の確認、職員間の連携を目的とした訓練を行った。浄水訓練も行った。
5月 11日 13:30～	避難訓練 (火災:日中想定)	厨房からの出火を想定した避難訓練を行った。消火器訓練も実施した。
6月 8日 9:30～	避難訓練 (地震警戒宣言発令想定)	避難訓練後、防災備品の使用方法を確認。非常食で昼食。訓練後、反省会を実施し問題点を確認した。
7月 13日 13:30～	避難訓練・消火訓練 (火災:夜間想定)	作業室からの出火を想定した避難訓練を行った。消火栓訓練も実施した。
8月 3日 13:30～	避難訓練・浄水訓練 (地震:日中想定)	安全第一迅速な避難誘導を目的とした訓練を実施した。
9月 14日 13:30～	避難訓練・消火訓練 (火災:夜間想定)	2階女性支援員室からの出火を想定し、避難訓練を行った。消火栓訓練も実施した。
10月 12日 9:30～	避難訓練・図上訓練 (地震:日中想定)	避難訓練後、セキュリティーの確認や、防犯システムの確認を行った。
11月 9日 13:30～	避難訓練・消火訓練 (火災:夜間想定)	22時の想定で職員2名で行った。出火は3階作業室。消火栓による消火訓練を実地した。
12月 14日 13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (地震:日中想定)	スムーズに避難場所まで誘導できた。除雪機の操作訓練を行った。
1月 11日 13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (火災:夜間想定)	19時想定職員5名、出火は3階作業室で消防署へ通報訓練を実施。除雪機の操作訓練を実施した。
2月 8日 13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (地震:日中想定)	スムーズに避難場所まで誘導できた。除雪機の操作訓練を行った。
3月 8日 13:30～	避難訓練・除雪機訓練 (火災:日中想定)	日中2階支援室からの出火を想定した避難訓練を行った。除雪機の操作訓練を行った。

2月17日 9:30～ 追加避難訓練（垂直避難）を行なった。

#### (4) 広報

「清川ホームだより」を2回発行した。

第135号 (9月18日発行)第三十二回開園記念日、夏のお楽しみ会、その他行事報告  
第136号 (3月26日発行)新年の祝い、秋のお茶会、クリスマス会、その他行事報告  
常設記事 作業収益報告、お知らせ、編集後記

#### (5) 権利擁護、本人活動支援

##### ① あおぞらプラン (かながわ知的障害者権利擁護プラン) の取り組み

神奈川県知的障害施設団体連合会が定めた「あおぞらプラン」に沿って、清川ホームでの実践課題を4つの柱に整理し取り組みを進め、半期に一度まとめを行った。(①生命の安全と健康を保障 ②人権を尊重 ③自己決定、本人の意思を尊重 ④プライバシーの尊重)

##### ② 苦情解決 (厚木地区オンブズマンネットワークの取り組み)

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の為、1年間活動中止となる。例年通りであれば、食堂でオンブズマン相談会を行い、相談者1人ひとり、順番に相談を行う。  
相談内容については改善や検討の必要に応じ、支援会議等で協議して対応する。

##### ③ 本人活動支援 (厚木地区としての活動)

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の為、1年間活動中止となる。例年通りであれば、厚木地区の本人活動支援 (Aネット協力員) 運営会議を行い、様々な活動を企画する。  
利用者の研修会とし、食事会関係のレクリエーションやカラオケ等で地域活動を行う。

##### ④ 本人活動支援 (清川ホームとしての活動)

利用者の声を聞く会・答える会

年間12回実施。聞く会・答える会と交互に行った。毎回食事や外出に関する希望が多く寄せられた。食事関係は栄養士、それ以外の意見は担当職員に確認してみんなの会にて回答した。アンケート箱は、参加できなかった利用者や答える事ができない利用者の代弁を書いて活用した。

#### (6) 職員研修

毎月第2木曜日に職員研修を実施した。AED・心肺蘇生法、防犯研修、個別支援計画書の作成について、職員のメンタルヘルス、人権についての研修、ユマニチュード研修、感染症対策についての研修を行った。新型コロナウイルス感染症対策・予防の為、今年度も外部講師を招く研修は延期し、内部研修を中心に行った。サポーターズカレッジを今年度より導入して研修を行なった。

## 2 その他の事業

### (1) 短期入所事業

年間 延べ人数 35人 延べ利用日数 551日 (令和2年度 50人 904日)

### (2) 地域生活支援事業【公益事業】

(日中一時支援事業など)

年間 延べ人数・延べ利用日数 28人/年 (令和2年度 35人/年)

## 2021年度の課題に対する自己評価

- 1 新型コロナウイルス感染症等の感染防止、健康管理に配慮した生活を提供する。  
⇒全国では新型コロナのクラスターとなる施設が多数出る中、一年間利用者、職員は健康的な毎日を過ごす事ができた。
- 2 感染症対策の研修など主に施設内研修の充実を図る。  
⇒ オンラインの研修を他の施設と合同で年2回実施した。  
感染に関する研修等をサポーターズカレッジを使用して質の高い職員研修（施設内研修）を取り入れる事ができた。
- 3 地域性を考慮した防災対策は、毎月の避難訓練とともに強化する。  
⇒ 新しく試行的に垂直訓練を実施した。動く事ができる利用者のみ限定して3階作業室に避難した。土砂崩れについての課題を関係者で意見を出し合い考える機会を持った。（神奈川DWAT登録研修の修了した職員1名）
- 4 職員間のチームワークを良好に保ち、安心して働ける職場づくりを目指す。  
⇒ 新型コロナウイルスの感染を施設内に持ち込まないという意識の共有がチームワークを高め、異動で加わった職員を含め引き続き良好なチームワークを維持している。また、感染を防止することで安心して働く職場づくりができた。
- 5 地域に根差した福祉施設となるよう清川村と連携を図る。  
⇒ 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に関して清川村と連携を深めるとともに利用者の命を守るための協力体制を進めた。
- 6 業務の見直し:危機管理の確認と徹底  
⇒ 新型コロナウイルス感染症の集団感染の防止について高いモチベーションを保ち、神奈川県共生推進本部室の職員と感染対策やこれからの利用者支援について意見交換を行った。

## 2021年度の新型コロナウイルス感染予防対策

### 【感染予防対策】

- ・新型コロナウイルス感染症対策会議の開催
- ・施設内の消毒の徹底
- ・利用者、職員の体温チェックの徹底。発熱、体調不良者はアイソレーション対応とした。
- ・N95マスク、サージカルマスク、防護服、キャップ、シューズ、ゴーグル等、クラスター対応の物品の整備
- ・空気清浄機、オゾン脱臭機の設置。
- ・職員の行動記録票の作成
- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のための職員研修の実施。
- ・外部業者による館内立入の制限

### 【中止・変更した事業等】

- ・緊急事態宣言期間中の短期入所、日中一時支援事業を中止。
- ・訪問歯科診療、訪問マッサージ、美容理容、ミュージックセラピーを中止。
- ・日帰りレクは食事会に、サマーフェスティバルはお楽しみdayに変更する等、事業を縮小して実施。
- ・厚木地区の活動、Aネットの活動など、外出による事業参加の中止。
- ・帰宅、保護者との面会を中止としたが、Zoomによる面会制度を導入。
- ・保護者会の開催回数を減らすとともに、施設外の施設で開催。

## IV 伊勢原ふたば保育園

### 1 認可保育所 伊勢原ふたば保育園

#### (1) 令和3年度園児人数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0才	11	9	10	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12
1才	13	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17	17	17
2才	18	18	20	20	20	20	20	18	18	17	17	17	17
3才	20	19	20	20	20	20	20	20	20	20	21	21	20
4才	28	20	22	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
5才	30	21	21	21	20	20	19	18	17	17	17	17	17
合計	120	105	109	110	109	109	108	105	105	102	103	103	102
	2020 年度	99	103	103	105	107	109	109	111	111	110	109	108

#### (2) 行事

4月	2日	新入園児歓迎会（各クラスごと）
	3日	保育説明会・懇談会（中止）
5月	14日	4歳児春の遠足（岩田山公園）
	20日	5歳児春の遠足（岩田山公園）
	28日	3歳児春の遠足（岩田山公園）
6月	12日	田植え（5歳児）
7月	1日	プール開き
	2日	おたのしみ会（5歳児）（買い物、カレー作りは中止）
	6日	七夕（乳児クラスと幼児クラス別々に行う）
	10日	夏まつり（中止にしたが、9日に5歳児の保護者1名までの観覧にしておみこしと盆踊りを実施）
9月	3日	引き渡し訓練（中止）
	28日	稲刈り（5歳児）
10月	23日	運動会【入れ替え制にて実施 【保護者のみ見学、マスク、検温、2m間隔を保つ】
	25日	芋ほり（4、5歳児）
	29日	3歳児秋の遠足（里山公園）（伊勢原総合運動公園に変更）
11月	1日	4歳児秋の遠足（新江ノ島水族館）（横浜動物園ズーラシア）
	2～5日	保育参観・懇談会（中止）
	12日	みかん狩り（5歳児）
	22日	5歳児秋の遠足（横浜動物園ズーラシア）
12月	11日	リズム発表会（中止）3月に保育参観という形で発表する。
	24日	クリスマス会（乳児クラスと幼児クラス別々に行う）
1月	14日	新春マラソン大会【5歳児保護者1名のみ見学】 【保護者マスク着用、検温】
	20日	防火センター見学（5歳児）
2月	3日	豆まき
3月	4日	5歳児卒園遠足（八景島シーパラダイス）
	8日	お別れ会（各クラスごとに行う）
	10日	保育参観（4・5歳児）保護者1名のみ見学
	11日	防災センター見学（5歳児）
	18日	プラネタリウム見学（5歳児）
	18日	卒園式【内容変更、時間短縮、保護者のみ出席】 【保護者マスク着用、検温】
	31日	保育終了の会（全園児から3歳児以上参加に変更）

※このほか毎月、身体測定。

※誕生会は全体から、0、1、2歳児は各クラスごと3、4、5歳児は合同に変更した。

※5月～6月の個人面談は中止にした。1月～2月の個人面談は蔓延防止等重点措置の影響で途中で中止とした。

### (3) 防災

日時	訓練種別	訓練状況
4月9日 10:30	避難訓練 (火災想定)	年度初めの訓練に伴い、各クラスで避難について職員間での確認や子ども達には紙芝居等を通して学んだ。
5月13日 10:20	避難訓練 (地震・火災想定)	地震から火災が発生し、駐車場に避難となったが各クラス、スムーズに避難をすることができた。(予告なし)
6月5日 10:00	避難訓練 (地震想定)	土曜日の異年齢の保育中地震を想定して訓練を行った。(予告なし)
6月15日 9:20	不審者対応訓練 (園庭に侵入想定)	不審者が侵入したことを放送で聞き、各クラスは保育室の施錠を行い不審者には男性職員が対応した。(予告なし)
7月29日 10:00	避難訓練 (火災想定)	火災現場発見者は直ちに事務所や近くの職員に報告し初期消火を行った。(予告なし)
8月31日 9:30	避難訓練 (冠水を想定)	熱中症の危険性があった為、避難場所を2Fホールに変更する。各クラス迅速に避難体制をとって訓練できた。(予告なし)
9月 28日 9:55	避難訓練 (地震、火災想定総合訓練)	5歳児を対象に広域避難場所(成瀬小学校)までの避難訓練の予定だったが、熱中症になる恐れがあったため、避難は見送ることにした。
16:00~	引渡し訓練 (中止)	新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度は引き渡し避難訓練は行わなかった。
10月29日 15:00	避難訓練 (台風・竜巻想定)	冠水も想定し、1階のクラスの園児は速やかに2Fホールに移動。幼児クラスの保育士も手伝いながら連携をとり対応することができた。(予告なし)
11月 19日 17:10	避難訓練 (落雷停電想定)	停電後、各クラスのランタンを使用しながら、安全に避難することができた。(予告なし)
12月20日 9:40	避難訓練 (火災の想定)	火災現場発見者は直ちに事務所や近くの職員に報告し初期消火を行った。(予告なし)
1月17日 9:10	不審者対応訓練	他の保護者に紛れて園内に侵入した不審者に対して、複数の職員で対応できた。また、不審者を刺激しないように合言葉で全体に伝え、各クラス避難体制をとることができた。(予告なし)
1月31日 9:20	避難訓練 (Jアラート想定)	ミサイル発射にともない、Jアラートが鳴ったのを確認し、園内放送にて各クラスに伝え避難体制をとった。(予告なし)
2月24日 7:30	避難訓練 (地震想定)	早朝の地震発生を想定して訓練を行った。園内にいた保護者も一緒に参加した。(予告なし)
3月14日 10:00	避難訓練 (地震想定)	全園児対象で、広域避難場所(成瀬小学校)まで速やかに避難することができた。(予告なし)

### (4) 広報

- 園だより、クラスだより 毎月発行
- 保健だより 年4回発行
- ホームページのリニューアル 同意書を取り、インスタグラムを導入

## 2 その他の取り組み

### (1) 地域育児センター事業

ア 育児相談 延べ件数 7件 (2020年度 9件)  
施設開放時・電話相談・面談等

イ 子育て家庭交流事業

#### ① 園庭開放

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、園庭開放も自粛していた為地域の方々との交流の機会をもつことがほとんどできなかった。

#### ② 成瀬地区の子育て支援の取り組み

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響から地域教育等連絡協議会が開催されなかったこともあり、例年行っていた「あいさつ運動」も行うことができなかった。

ウ 中高生と園児の体験交流事業・夏期保育体験

新型コロナウイルス感染症の影響で、中高生と園児の交流する機会を持つことができなかった。

エ 世代間等交流事業

新型コロナウイルス感染症の影響で、例年行っていた、「湘南けやきの郷」「ケアセンター高森荘」との交流会は中止となった。

### (2) 一時預かり事業

利用状況 (延べ利用人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
2021年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人
2020年度	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	4人

※新型コロナウイルス感染症の感染状況や職員の休み等の影響で受け入れが出来なかった。

### (3) 職員研修

(園内研修)

月 日	内 容	受講人数
5月 21日	カメラ操作について (一眼レフカメラ)	15人
6月 1日	AED講習 講師：伊勢原市消防署	中止
6月 18日	施設整備操作方法 講師：相日防災	中止
7月 14日	保育業務の役割について (勤務1年～3年)	3人
7月 27日	保育業務の役割について (勤務4年～)	3人
7月 29日	保育業務の役割について (リーダー等)	2人
3月 8日	自己評価まとめ 講師：主任	15人

※中止になった研修は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となる。

(外部研修)

月 日	場 所	内 容	対 象
7月 2日	横浜	乳児保育の意義・乳児の発達に応じた保育	保育士
10月 8日	横浜	保育実践<人間関係>	保育士
10月 14日	横浜	食物アレルギーの理解と予防	保育士
10月 20日	横浜	保育実践<言葉>	保育士

10月 28日	横浜	子育て支援専門講座	保育士
11月 10日	横浜	園で気になる子どもへの対応	保育士
11月 11日	横浜	食物アレルギーの食事と管理	保育士
11月 24日	横浜	保育実践<環境>	保育士
11月 29日	横浜	乳児への適切な関わり	保育士
12月 1日	横浜	地域に根ざした子育て支援	保育士
12月 2日	横浜	マネジメント研修	保育士
12月 3日	横浜	保育実践<保育内容総論>	保育士
1月 18日	ZOOM	子どもの心と体を育む食生活	保育士
1月 22日	ZOOM	成長基本法が施行されて	看護師
1月 26日	ZOOM	食育アレルギー対応	保育士
1月 25日	ZOOM	虐待の予防と対応	保育士
2月 3日	ZOOM	あなたも私もサポーター	保育士
2月 7日	ZOOM	早期療育普及研修	看護師
2月 15日	ZOOM	保育実践<運動>	保育士
2月 21日	ZOOM	食育計画の作成と活用	保育士
2月 24日	ZOOM	地域にあった防災備蓄対策	調理

※新型コロナウイルス感染症の影響でWEB研修が後半多かった。

## 2021年度の課題に対する自己評価

- 1 新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、安心・安全な保育に取り組む  
⇒ 引き続き、基本的な感染予防対策を徹底し、換気や玩具・園内消毒などの衛生管理に努めた。また、保護者の協力や理解をいただきながら必要な情報は一斉メールなどで共有し、迅速に対応することができた。  
また、感染状況に合わせて柔軟に保育を展開することで子ども達が制限されることなく安心して過ごすことができた。
- 2 伊勢原ふたば保育園として目指す保育目標を全職員で共有していく。  
⇒ 保育目標を意識すると共に、子ども達の様子をふまえて保育を展開することができた。また、年度途中で各クラスごと振り返りを行うことで保育の充実に繋げることができた。
- 3 職員全員が能力向上に努め、専門性を活かした保育運営に取り組む。  
⇒ 研修などで学んだものや、各自からの情報提供などを園全体で共有することができた。また、職員一人ひとりの意欲や特性を活かした保育運営に取り組むことができた。



## 2021年度の新型コロナウイルス感染予防対策

### 【感染予防対策】

- ・施設内や玩具などの消毒を徹底する。
- ・園児、職員の毎朝体温チェックの徹底と日誌による管理。
- ・園児、保護者、職員手指の消毒の徹底。換気の徹底。
- ・37.5℃以上の発熱、体調不良者は出勤停止とし、医療機関への受診と検査を受けるように義務付けた。
- ・看護師と連携した園児、職員の健康管理の徹底。
- ・午睡時、給食時のソーシャルディスタンスの確保。職員のは園児から離れた所で昼食をとるようにする。
- ・マスク、グローブ、消毒用アルコール等物品の整備。
- ・空気清浄機の配置。
- ・感染防止のための職員一人ひとりの責任ある行動を要請。
- ・新型コロナウイルス感染症情報の報告・連絡・相談の徹底。

### 【中止・変更した事業等】

- ・春の遠足、夏まつり、クラス懇談会、個人面談、リズム発表会は中止。  
(リズム発表会は3月に保育参観として実施)
  - ・運動会は3・4・5歳児のみ入れ替え制で時間を短縮して実施。保護者の参加は2名に制限し保護者の観覧場所のソーシャルディスタンスの確保とマスク着用と検温を徹底。
  - ・卒園式は卒園児、保護者、正職員のみとして時間を短縮して実施。保護者出席は2名に制限し、マスク着用、検温を徹底した。
  - ・実習生受け入れを中止または次年度に延期。
  - ・全体で行っていた季節行事は各クラス単位または乳児と幼児で別れ短時間で実施。
- \*新型コロナウイルス感染症予防の為、予定していた保育活動に様々な影響を受けたが園児、職員の安心、安全を第一に心掛けた。  
引き続き、気を緩めることなく制限の多い中でも保育の充実を図っていきたい。

## V 本厚木ふたば保育園

### 1 認可保育所 本厚木ふたば保育園

#### (1) 2021年度園児人数

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0才	12	2	4	4	4	4	5	7	8	9	9	9	9
1才	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
2才	13	11	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	11
3才	13	13	13	13	13	13	13	13	13	12	13	13	13
4才	14	10	10	10	10	9	9	9	9	9	10	11	11
5才	14	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	8	8
合計	79	57	59	59	60	59	60	62	63	62	64	64	64

2020年度	79	59	61	63	63	64	65	66	67	68	68	68	67
--------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

#### (2) 行事

- 4月 1日 入園・進級式(中止)
- 9日 保育説明会 (中止)
- 23日 春の遠足4.5歳児 (ぼうさいの丘公園)
- 5月10日 さつま芋苗植え (4.5歳児・みどり園)
- 6月 8日 プラネタリウム
- 7月 1日 水遊び開き
- 7日 七夕の集い
- 16日 夏まつり(園児のみ)
- 30日 5歳児お楽しみ会
- 9月 2日 厚木市監査
- 10月15日 運動会(4.5歳児のみ・保護者なし)
- 26日 プラネタリウム (幼児組)
- 27日 さつま芋掘り (4.5歳児・みどり園)
- 29日 秋の遠足 (3歳児・伊勢原運動公園)
- 29日 療育機関園訪問
- 11月 2日 秋の遠足 (4.5歳児・平塚運動公園)
- 26日 交通安全教室
- 12月24日 クリスマス会
- 1月 7日 新春・伝承遊び
- 2月 3日 豆まき
- 18日 お店屋さんごっこ
- 3月 3日 ひなまつり会
- 4日 思い出遠足(横浜八景島シーパラダイス)
- 11日 5歳児を送る会
- 18日 卒園式
- 31日 修了式

\*各月に、誕生会、身体測定

避難訓練などを実施

\*年2回 内科健診、歯科健診

\*引き渡し避難訓練は中止

### (3) 防災

日時	訓練種別	訓練状況
4月 20日 9:30～	避難訓練 (図上、地震・火災想定)	各クラスで避難・消火・通報について話し合った。新年度初めてで、乳児は、頭巾を嫌がる児が多く、幼児は避難靴をうまく履けない児がいた。
5月11日 14:55	避難訓練 (地震想定)	実際に避難靴を履いての避難とした。まだ寝ている児が多かったが、保育士の声掛けや、笛の使用で危険を感じている児もいた。
6月 8日	通報避難訓練 (火災想定)	消防署に通報の訓練をした。保育士自身、貴重な体験をした。子どもたちは、落ち着いて避難できた。(予告なし)
6月14日	避難訓練 (不審者想定)	不審者から子どもを離し、侵入者の目に触れないように避難した。幼児は不審者を察知し静かにできた。(予告なし)
7月13日	避難訓練 (火災想定)	非常階段を使つての移動は、乳児組は時間がかかった。おんぶひもなど設置場所を話し合った。(予告なし)
8月 16日 9:30	避難訓練 (津波・洪水訓練)	より高い階層へ逃げるようにした。子どもたちも理解し、しっかり逃げる事ができた。
9月9日 11:00	総合訓練 (地震)	各クラスで避難の確認をしたが、3階で遊んでいたクラスの確認を担当ができなかった。無線を使用する周知をした。
16:30～	引渡し訓練 (中止)	新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度は引き渡し避難訓練は行わなかった。
10月 5日 17:00～	避難訓練 (地震想定)	遅番の時間帯の避難を想定して対応できるようにした。園内にいた保護者も参加した。
11月10日 10:30～	避難訓練 (地震想定)	園外活動(散歩)中の避難訓練を行った。担任のホイッスルを合図に集まる事ができた。その後、園に連絡できた。
12月 7日 8:30～	避難訓練 (火災想定)	給食室からの火災を想定し、避難した。玩具を持ったまま逃げようとしたり、自分の靴を探せなかったりする児がいた。
1月18日	避難訓練 (火災想定)	各クラス、階段で避難した。保育士の役割を分担して、避難口も確保できた。(予告なし)
2月 8日	通報避難訓練 (火災想定)	通報訓練、緊張感を持ってできた。乳児組は逃げてから避難靴を履いた。(予告なし)
2月15日	避難訓練 (不審者対応)	落ち着いて担任の話聞いて静かに待つ事ができた。保育士自身が落ち着いて行動する大切さがわかった。(予告なし)
3月 8日 16:00～	避難訓練 (火災想定)	子どもたちも保育士も速やかに避難できた。幼児組は自分たちで考えて逃げる事ができるようになってきた。(予告なし)

#### (4) 広報

- 園だより、毎月発行
- 保健だより 年4回発行
- ホームページのリニューアル。同意書を取りインスタグラムを導入。タイムリーに外部に発信した。

#### (5) 職員研修

##### \*外部研修

- 8月 2日 ~11月30日 全5回 神奈川キャリアアップ研修. 保護者支援・子育て支援
- 9月 15日 ハラスメントを予防・解決する保育園の職場づくり
- 11月 11日 療育相談センター まめの木における言語聴覚士の仕事
- 11月 16日 療育相談センター まめの木探検
- 11月 16日 ~2月22日 全5回 子どもの食育支援研修
- 11月 17日 子ども達の行動のいいね！を増やす
- 12月 7日 心の仕組みと心のケア
- 12月 14日 食物アレルギー緊急時対応研修
- 1月 12日 組織目標の設定
- 1月 18日 アレルギー疾患対策研修(2名)
- 1月 20日 厚木市の就学相談・家庭相談課の事業と役割(2名)
- 3月 10日 職員のメンタルヘルス・若い職員の定着のために

## 2 その他の取り組み

### ① 和太鼓への取り組み

年長児が、運動会での発表に向けて、和太鼓に取り組んだ。  
全学年で取り組めるよう、楽しみながら音の感覚を養えるようにした。  
年間を通して取り組めるように、各クラスの目標を掲げて保育士が取り組みやすいようにした。

### ② 栄養士が独自のメニューを取り入れ、子ども達の日々の様子を見ながらメニューの改善などをした。また、食育をできる範囲で行い、子ども達に食物の大切さを教えた。また、味噌作りや野菜作りを通して、自分たちで作ったものを食べ、食物に一層興味を持つことができた。コロナ禍で、クッキングはできなかった。

### ③ 「さくら・さくらんぼのリズム」を実践

職員全体で共有できるようにし、子ども達が楽しみながら取り組めるようにした。  
毎日の保育に取り入れ、子ども達の体幹を鍛え、心身ともに成長していくことができるよう心掛けた。保育士自身の体幹も鍛えられるよう実践した。

## 2021年度の課題に対する自己評価

- 1 新型コロナウイルス感染症に対して、しっかりとした対応を行っていく。  
また、コロナ禍における制限がある中で子ども達にとって楽しい保育を提供できるように取り組む。  
⇒ 手洗いやうがい、手指消毒などを徹底し、検温や視診を丁寧に行った。  
また、外部訪問者の検温、手指消毒も合わせて行った。  
園の行事は規模を縮小し、保護者参加なしで行い、年長組保護者には、夏まつりや運動会のDVDを配布した。  
園児には限られた中での保育だったので、「楽しさ」を優先させながらも、制限をかけざるを得ない事も多く、戸外での遊びの後の消毒を欠かさないようにしたり、食事の際も4歳以上児にはしゃべらないように促したりして取り組んだ。
- 2 本厚木ふたば保育園の目指す保育を職員全体で共有し、一丸となって取り組む。  
⇒子どもを中心にした、子ども主体の保育をすることを共有するため、報告・連絡・相談の徹底をし、情報の共有化を図ったが、全員に共有する事は難しかった。
- 3 「さくら・さくらんぼのリズム」を実践し、子ども達により良いリズムを提供できるようにする。また、保育士自身の体幹も鍛える。  
⇒子ども達の体幹を鍛えるため、毎日全学年を通して「さくら・さくらんぼのリズム」に取り組んだ。保育士も一緒に楽しむ事で、より良いリズムを提供できた。
- 4 地域の特徴を活かした、地域に溶け込んだ保育園を目指す。  
⇒コロナ禍の影響で、地域の子育て支援は充実できなかった。公園でも、地域の方と触れ合う事は難しかった。また、厚木市が取り組んでいる、おむつ替えや授乳のできる赤ちゃんの駅「ベビリア」を利用した方はいなかった。
- 5 真心保育で、安心・安全な保育園運営ができるように職員が一丸となって取り組む。  
⇒子ども達一人ひとりに対して、丁寧に、安心・安全な保育が提供できるように、保育士一人ひとりのスキルアップを目指した。研修などはオンラインで取り組んだり、Zoomで参加したりした。

## 2021年度の新型コロナウイルス感染予防対策

### 【感染予防対策】

- ・施設内の消毒の徹底
- ・園児、職員の手指消毒の徹底。
- ・園児、職員の毎朝体温チェックの徹底と日誌による管理。
- ・37.5℃以上の発熱、体調不良の場合は出勤、登園停止とし、医療機関への受診と結果報告を義務付けた。
- ・マスク、グローブ、消毒用アルコール等物品の整備。
- ・空気清浄機の設置。

- ・退勤時、着用した服等をクロール水で除菌し、退勤。
- ・緊急事態宣言時に園児の登園自粛に併せて職員の出勤自粛を行った。
- ・職員に対し会食、旅行等の自粛の要請。
- ・給食時に話さないように園児に指導。
- ・職員の給食は、事務所で交代で食べるようにした。（園児とは別に食べた。）
- ・午睡時にベッド間の距離を離して配置。

【中止・変更した事業等】

- ・夏祭りは保護者の参加なし、運動会は4・5歳児のみで、それぞれ短時間で実施。
- ・クリスマス発表会、クラス懇談会、クラス面談を中止。
- ・卒園式の出席者を1家族2名に制限。マスク着用・消毒を徹底し、短時間で実施。
- ・実習生受入れを中止又は次年度に延期。
- ・全体で行っていた季節行事等は各クラス単位で短時間で実施。

\* 新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な事が制限されたり、行事や研修などもできなかつたりした。その中でも、子どもたち中心の楽しい保育の提供を心掛けた。今後も、感染症対策をしっかりと行い、保育を展開していきたい。

## VI げんき家

### 共同生活援助事業

#### 1 設置場所

伊勢原市桜台2-16-25 エクセル伊勢原201号 利用者 4名

#### 2 利用者に対する支援

知的障がいのある者が、地域で自分らしく生きることができるよう暮らしのサポートを行い、交流、共感、体験を念頭に、利用者の立場に立ったサービスを提供した。

#### 3 ホームの1日

時間	主な内容
7:00	起床 朝食 出勤
17:30	【職場、施設、作業所など】 帰宅 (世話人と夕食づくり)
18:30	夕食 (世話人と食器片付け)
19:30	入浴 自由時間 就寝

※ 休日は、自由行動。(帰宅、買い物、趣味嗜好の外出など)

大きな事故等もなく、利用者の地域生活に密着した支援ができた。

バックアップ施設となっているみどり園の職員と世話人との協力体制のもと、土日の食事提供を行いながら利用者の状況把握に努めた。

#### 2021年度の課題に対する自己評価

- 1 手洗い・うがい等の新型コロナウイルス感染対策を励行し、高齢入居者の健康管理に留意をしながら、就労されている入居者の支援を行う。  
⇒ 入居者全員に手洗いうがい等を励行することにより、入居者全員が感染対策を意識して行えた。高齢入居者は令和3年9月、高齢に伴い健康面で安心した生活を送れて夜間帯の見守り体制等が整った環境である法人内の入所施設へ移行した。
- 2 入居者の障がい特性について理解を深めながら、職員間の連携を図る。  
⇒ 入退所支援や、緊急時の対応等でその都度職員間の連携を図っている。また、相談支援事業所や就労先等の関係機関とも必要時に連携を図っている。
- 3 職員は、法人内外の研修参加を継続する。  
⇒ 2021年度は新型コロナウイルス感染拡大等の影響もあり、法人内外の研修に参加することができなかった。次年度は計画をして研修に参加する。

#### 2021年度の新型コロナウイルス感染予防対策

##### 【感染予防対策】

- ・施設内の消毒、換気の徹底
- ・利用者、職員の検温、手洗い、うがい、消毒、マスク着用の徹底。
- ・感染予防消耗品、消毒液生成器の購入。
- ・利用者へ必要以外の外出自粛を要請。
- ・外出自粛によるストレスへの配慮。

## Ⅶ つくし 就労継続支援B型事業所

定員 30名 所在地 伊勢原市伊勢原3-6-7 (伊勢原スタジオ)

### 1 利用実績 (開所日数・利用者数・平均作業工賃等)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	26	26	26	27	24	26	26	26	25	24	24	26	25.5
登録者数	50	48	49	49	49	50	49	50	49	48	49	51	49.3
延利用者数	609	572	673	669	542	603	617	610	567	561	531	621	597.9
平均作業工賃	14,529	12,507	13,846	13,152	15,770	12,810	13,132	12,235	15,985	11,345	10,895	12,353	13,206

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	22	18	26	27	25	26	27	25	25	23	24	27	24.6
登録者数	49	51	50	50	50	50	52	52	52	52	51	50	50.8
延利用者数	567	525	647	615	524	629	664	643	649	566	568	646	603.6
平均作業工賃	12,871	11,189	13,965	14,203	16,530	12,780	14,807	12,318	18,001	11,452	13,075	15,156	13,591

※ 登録者平均利用率=延利用者数÷(登録者数×開所日数)

### 2 作業内容

施設内作業	自動車部品の下加工・選別・シール貼り/化粧箱組立、セット作業、 検品、段ボール組立、水道メーター解体
施設外就労	出向先の施設清掃/倉庫内での蓄冷材洗浄、カタログ仕分け等
自主事業	オリジナルカレンダー・絵葉書・手芸品等の販売・リサイクル品販売など

### 3 その他の活動

就労支援活動	SST (社会生活技能訓練)、一般企業に就労実績 3名 (2年度 2名)
実習生受入	東海大学健康科学部社会福祉学科、田園調布学園大学・子ども未来学部 子ども未来学科・人間福祉学部社会福祉学科・心理学科

### 4 行事

4月 1日	花見
5月 22日	スポーツ交流会 (中止)
6月 5日	ほっぷすてっぷガレージセール (中止)
15日	みどり園衣類訪問販売 (中止)
29日	家族の集い (中止)
7月 3日	平塚七夕見物 (中止)
8月 3日	蕎麦打ち体験 (中止)
21日	みどり園納涼祭 (中止)
27日	わいわいマーケット映画会 (中止)
31日	暑気払い (施設内で実施)
9月 7日	バーベキュー大会 (県精連秦野足柄上地区・中止)
18日	伊勢原市障害者スポーツ大会 (中止)
29日	湘南西地区苦情解決委員会第三者委員訪問 (中止)
10月 2・3日	道灌祭(中止)
9日	精神保健福祉ボランティア基礎講座 (当事者体験発表等)
27日	みくるべバザー (みくるべ病院・中止)
11月 16日	日帰り旅行 (中止)
12月 2日	「障害者週間」街頭啓発キャンペーン (中止)
4日	ふれあい福祉まつり (すこやか園・ドリーム・中止)
20日	宮ヶ瀬ダムツリー見学
1月 4日	初詣 (伊勢原大神宮)
2月 3日	伊勢原大神宮節分祭 (中止)
10日	梅見会 (別所梅林・中止)

※ その他、絵手紙教室、運動プログラム、街頭募金 (中止)



## 5 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
3月24日	避難訓練(地震想定) (予告なし)	混乱なくスムーズに避難できた。
3月30日	避難訓練(火災想定) (予告なし)	混乱なくスムーズに避難できた。

### 2021年度の課題に対する自己評価

- 1 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安心安全な作業環境を整える。また、コロナ禍における新しい生活様式を利用者とともに検討する。  
⇒ 新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用・手指消毒を徹底し、作業環境では密集にならないよう安心安全な作業に努めた。新しい生活様式としては、室内でも楽しめる行事の検討を行い、今年度は食事会を1度実施した。2022年度に向けて、引き続き新しい生活様式の検討を行っていく。
- 2 現在の受注作業に加えて、新規受注先の開拓も視野に入れ、工賃の時給額のアップを目指したい。  
⇒ 新規受注先の開拓も進んでいるが、受注作業の増加には繋がらなかった。引き続き、企業との連携を図り現在の受注作業が年間を通してきちんといただけるようにしながら、安定した作業収入に努め工賃の時給額アップを目指していく。
- 3 スーパービジョン体制(「支持的機能」「教育的機能」「管理的機能」)をさらに整える。  
⇒ 新型コロナウイルスの影響で、職員全員を対象にスーパービジョン基礎研修、スーパービジョン面接を十分に実施できなかった。引き続きスーパービジョン体制の充実に努めたい。
- 4 ホームページをリニューアルし、つくしの魅力(一般企業就労実績・専門性の高い支援・丁寧な仕事等)を発信し、利用者の獲得と企業からの作業を発注していただけるようにPR活動を行う。  
⇒ 新型コロナウイルス対応の影響で、ホームページのリニューアルが年度後半となり見学者については相談事業所等の紹介で来園する方が多かった。見学者の多くの方が体験利用を希望され、利用者獲得に繋がっている。

### 2021年度の新型コロナウイルス感染予防対策

#### 【感染予防対策】

- ・施設内の消毒の徹底
- ・作業室と面談室に飛沫防止用ビニールを設置。
- ・昼食時のソーシャルディスタンスの確保。
- ・37.5℃以上の発熱、体調不良の場合は出勤、利用停止とし、医療機関への受診と結果報告を義務付けた。
- ・マスク、グローブ、非接触型体温計等、感染予防対応の物品の整備。
- ・利用者、職員の毎朝の検温、作業開始前の検温、手指消毒の徹底。
- ・空気清浄機の設置。
- ・入室者記録、チェック表を作成。

#### 【中止・変更した事業等】

- ・家族の集いの中止、ボランティア等の訪問の制限。

## Ⅷ アトリエ ヴェルデ

就労継続支援B型事業所

定員 20名

所在地 伊勢原市高森1422-7

### 1 利用実績（開所日数・利用者数・平均作業工賃等）

2021年度実績

登録者平均利用率 89.0%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	22	23	22	23	21	21	23	22	23	22	20	23	22.1
登録者数	25	25	25	25	27	27	27	27	27	26	26	27	26.2
延利用者数	500	511	518	508	474	512	553	550	544	487	475	548	515.0
平均作業工賃	15,759	16,123	16,734	16,872	13,667	21,620	16,270	16,513	15,684	14,906	14,734	22,946	16,843

2020年度実績

登録者平均利用率 81.65%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
開所日数	22	23	22	23	23	21	23	21	23	23	20	23	22.3
登録者数	28	27	27	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26.3
延利用者数	426	518	500	507	482	466	500	479	480	463	416	504	478.4
平均作業工賃	10,593	7,626	16,356	16,024	14,403	15,561	17,184	15,929	21,983	15,238	13,407	17,312	15,769

※ 登録者平均利用率＝延利用者数÷（登録者数×開所日数）

### 2 作業内容

施設内作業 クリーニング作業、ボールペン組み立て、化粧箱組立、ダンボール組立

### 3 その他の活動

実習生受入 伊勢原養護学校実習生受入

### 4 行事

4月 1日(木)	お花見(延期)
4月 17日(土)	保護者会(中止)
4月 22日(木)	お花見(厚木市つつじ公園散策)
5月 8日(土)	ふれあいフェスティバル(中止)
5月 27日(木)	日帰り旅行(中止)
7月 8日(木)	暑気払い(中止)
9月 9日(木)	防災訓練(火災想定)
9月 25日(土)	伊勢原市障害者スポーツ大会(中止)
10月 7日(木)～10月 8日(金)	一泊旅行(中止)
10月 16日(土)	保護者会
12月 10日(木)	忘年会(中止)
1月 16日(土)	初詣(中止)
2月 10日(木)	防災訓練(地震想定、防災センター見学)

### 5 防災

日 時	訓練種別	訓練状況
9月9日	避難訓練 (火災想定)	男性更衣室より出火想定、避難口より駐車場まで避難、スムーズに非難する事ができた。
2月10日	避難訓練 (地震想定)	混乱なくスムーズに避難できた。終了後防災センター見学を行った。

## 2021年度の課題に対する自己評価

- 1 新型コロナウイルスの感染症対策を徹底し、安全な作業環境を整える。  
⇒ 利用者、職員の検温の徹底や朝夕の高頻度接触面の消毒の徹底、定期的な換気、利用者同士のソーシャルディスタンスを確保して作業した。また、対面での食事を避けた席次配置、作業室、食堂に空気清浄機を設置するなど安全な環境を整えた。
- 2 利用者の支援体制の充実と工賃の向上を図る。  
⇒ コロナ禍による自宅待機なども無く、各企業からの仕事の受注も安定していたため前年度同様の作業収益を得ることができた。また、職員の勤務体制を変更し平日の支援の充実を図った。
- 3 利用者の就労支援と就労後の定着支援を強化する。  
⇒ 前年度と今年度の県央地区、西湘地区の障害者就職面接会がコロナ禍で開催されないなど就労への機会が激減する中、地域の理解のある企業を開拓し、利用者の就労につなげたいと努めたが就労につながらなかった。今後も地域の理解ある企業の開拓をしていきたい。
- 4 中期計画の実現に向けた検討を進める。  
⇒ コロナ禍の中、実習生の受入も1回あたり1名に限定し、期間が重複しないようにして行ってきた。養護学校との連絡も密にし細心の注意を払い実習生の受入を行った。1日の利用者平均が23名～24名になってきたため、定員枠を20名から25名に増やす検討をした。
- 5 「つくし」との連携協力強化を図る。  
⇒ 取引先の共有等、作業に関することはお互いの情報交換が行えたが、コロナ禍のため職員の交換研修や交流はできなかった。

## 2021年度の新型コロナウイルス感染予防対策

### 【感染予防対策】

- ・施設内の消毒の徹底
- ・利用者・職員の手指消毒の徹底。
- ・利用者、職員の毎朝体温チェックの徹底と日誌による管理。
- ・37.5℃以上の発熱、体調不良者は出勤、利用停止とし、医療機関への受診と結果報告を義務付けた。
- ・マスク、グローブ、消毒用アルコール等物品の整備。
- ・入室者の氏名及び体温記録等の管理表を作成。
- ・作業棟の換気の徹底。
- ・空気清浄機、オゾン脱臭機の設置。
- ・外部業者による施設内立入の制限。

### 【中止・変更した事業等】

- ・日帰り旅行、暑気払、一泊旅行、忘年会、初詣の中止。忘年会は食事会に変更し事業を縮小して実施。
- ・お花見は、人の少ない時期のツツジの干渉を行った、昼食は帰って施設で昼食とした。
- ・春の保護者会の中止。
- ・体験入所の自粛。

## Ⅹ つくし相談室

### 相談支援事業

#### 1 開所日数

268日（2020年：268日） 1日平均相談件数 19.6件（2020年：21.6件）

#### 2 相談実績

##### （1）相談実人数（障害者手帳の区分）

	身体障害	重度心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	総数
2021年度	12	0	86	120	2	1	0	211
2020年度	14	0	76	119	2	0	0	211

##### （2）相談登録者数

	身体障害	重度心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	総数
2021年度	14	0	136	154	3	4	0	311
2020年度	15	0	135	157	3	4	0	314

##### （3）支援方法

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	総数
2021年度	776	705	247	2,434	0	50	1,051	5,263
2020年度	660	664	194	3,488	2	26	1,172	6,206

#### 主な支援内容

- ・福祉サービスの利用に関する支援（サービス等利用計画） 3,377 件
- ・健康医療に関する支援 3,394 件
- ・家族関係・人間関係に関する支援 2,074 件
- ・就労に関する支援 718 件
- ・その他 3,538 件

### 3 相談実績の分析とその対応

2021年度は前年度と比較すると、支援方法で電話相談が大きく減少した一方で、訪問や個別支援会議が増加している。これは、新型コロナウイルスへの対策が明確化してきたことで電話相談だけではなく、訪問や来所相談、同行を行うことができたと思われる。

利用者がコロナ禍で、不安定になる方がおられたので、電話相談だけではなく、訪問や来所相談をし、顔を合わせて支援をすることで、できるだけ不安を解消することができた。また、前年度はコロナ過で個別支援会議の開催が難しかったが、オンラインでの会議が一般化され、会議の開催がしやすくなり、会議の数が増えている。

利用者の中には、生活に困難をきたしている方の「かながわライフサポート事業」を実施している。2021年度に行った支援は3件あり、必要な支援を行っている。

## 2021年度の課題に対する自己評価

- 1 サービス等利用計画作成に伴う計画相談及び一般相談への対応  
「つくし相談室のあり方」を方針として、適切かつ丁寧な支援を行っていく。  
⇒ 利用者及び家族に対し、きめこまやかでかつ丁寧な支援を行うことができた。また、「つくし相談室のあり方」に基づき、職員の業務の負担度を客観的に評価できるように数値化したデータを作成し、職員会議で定期的にデータの精査を行い、改善点などを協議した。  
なお、職員の業務負担軽減のため、非常勤の相談員を1名採用した。  
2021年度は精神的、身体的に治療を必要とされた利用者の通院の受診や入退院時の同行、医療機関等の関係機関との連絡調整、といった支援が多かった。また、通所施設やグループホームといった施設の利用を検討し、日中の場、生活の場を利用者の方の意向に添いながら、見学、体験、利用まで調整するといった支援も行った。
- 2 関係機関との連携  
関係機関との綿密な連携を基本として、相談員がケースを抱え込むことなく「役割分担」を明確にして支援を行う。  
⇒ 引き続き関係機関と日頃から情報共有し利用者の支援を行ってきた。1.でも述べたが、医療的な対応の調整、住環境の整備といった支援を行った。特にサービス担当者会議を行うことで利用者及び関係者間で「顔の見える関係づくり」を構築でき、円滑な支援に結びつけられたと考えられる。
- 3 新型コロナウイルスの感染状況に対応した支援を行う。  
⇒ 職員の毎日の検温、健康管理を行っている。  
相談室での面談に関しては、来訪者の検温、うがいや手指消毒協力、面談終了時には部屋の換気、テーブル、アクリル板の消毒を行うとともに訪問する際の公用車の消毒も随時行った。また、会議の際は、換気を十分にを行うとともに、Zoomによるオンライン会議とするなど、感染予防対策を徹底した。  
また、相談室職員への早期のワクチン接種に努めるとともに、ワクチン接種を予約することが難しい利用者のワクチン接種予約を代行する支援を行った。
- 4 キャリアにあった研修を受講し、相談員の知識及び経験の維持向上を図る。  
⇒ 現任研修を修了した相談支援専門員1名が「主任相談支援専門員研修」を受講し、地域での相談員の養成や燃え尽き防止、地域での支援のあり方など学び、資格を取得した。  
また、多くの研修が新型コロナウイルスの影響でオンラインでの研修となっており「苦情解決」、「相談支援に関する研修」をオンラインで受講し、相談室で知識の共有を行った。
- 5 生計困難者に対する相談支援事業「かながわライフサポート」の事業を円滑な運営に努める。  
⇒ 2021年度は2名が利用した。1名の方は就職し給与をもらえるまでの間の食料支援、もう1名の方は父亡き後、自宅の固定資産税を支払うことで生活が回らなくなったため、食料支援を行った。いずれの方も相談支援専門員がその後生活が安定するように経過を確認し、面談、訪問等を行うなど支援を継続している。
- 6 法人40周年記念事業（つくし相談室10周年記念事業）を実施する。  
⇒ 法人40周年記念誌が発行された。

## 2021年度の新型コロナウイルス感染予防対策

### 【感染予防対策】

- ・施設内及び公用車の消毒の徹底。
- ・職員のマスク着用、毎朝体温チェックの徹底と記録管理。
- ・来所利用者への検温、うがい、手指消毒、マスク着用の協力要請。
- ・面談室に飛沫防止の亚克力板設置。
- ・空気清浄機の設置。
- ・会議へのリモート参加。
- ・感染防止のため、障がい福祉サービスの通所事業所、入所事業所への訪問ができないケースは、電話でのモニタリングで対応した。

### 【利用者への支援】

- ・利用者の新型コロナウイルスワクチン接種の申込支援
- ・PCR検査を実施している医療機関の紹介
- ・コロナ補助金申請の支援
- ・コロナ禍で不安が増している利用者に電話、訪問などの支援を行った。

## X 施設間連携室

### 1 設置場所

伊勢原市栗窪605-1 (みどり園内)

### 2 事業内容

マイクロバスによる利用者の送迎・各施設への貸出調整等

### 3 実績報告

年月日	件名	貸出物品	貸出先
2021-04-22	お花見(つつじ公園)	三菱マイクロバス	アトリエ ヴェルデ
2021-05-10	みどり園芝生農園	トヨタマイクロバス	本厚木ふたば保育園
2021-05-10	みどり園芝生農園・岩田山公園	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2021-05-14	岩田山公園	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2021-05-20	岩田山公園	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2021-05-28	丸山城址公園	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2021-06-07	利用者健康診断	三菱マイクロバス	つくし
2021-06-07	利用者健康診断	日産マイクロバス	アトリエ ヴェルデ
2021-06-11	田植え(加藤花園)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2021-06-11	竹笹の葉運搬	軽トラ	伊勢原ふたば保育園
2021-06-15	田植え(加藤花園)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2021-10-04	稲刈り	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2021-10-25	芋掘り	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
		日産マイクロバス	
2021-10-27	芋掘り	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
2021-10-29	遠足(平塚総合公園)	日産マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2021-10-29	遠足	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
2021-11-01	遠足(ズーラシア)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2021-11-02	遠足(平塚総合公園)	三菱マイクロバス	本厚木ふたば保育園
2021-11-12	みかん狩り	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2021-11-22	遠足(ズーラシア)	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2022-03-04	卒業遠足(八景島シーパラダイス)	キャラバン	本厚木ふたば保育園
2022-03-11	防災センター見学	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2022-03-15	卒業遠足	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園
2022-03-18	プラネタリウム見学	三菱マイクロバス	伊勢原ふたば保育園

#### 2021年度の課題に対する自己評価

引き続き施設間での公用車(マイクロバス等)の送迎や貸出の調整業務に取り組み、みどり園花壇農園での保育園さつま芋掘りの手伝い等を行い、withコロナの新しい時代に適応できる仕組みを構築していく。

⇒ 2021年度は各事業所がコロナ禍での外出等を模索したうえで、公用車(マイクロバス等)の活用や、さつま芋掘り等を実施することができた。感染症対策(消毒・換気)をしながら公用車、物品の貸出等もスムーズに進められることができた。今年度も園児・利用者様が安心安全に楽しめるように、公用車の整備とさつま芋掘り等の準備を行っていく。

#### 2021年度の新型コロナウイルス感染予防対策

##### 【感染予防対策】

- ・車両のシート等の除菌消毒の徹底。
- ・乗車時のソーシャルディスタンスの確保。
- ・車内換気の徹底。